

耕平さんかわら版

皆さん、明けましておめでと
うございます。いよいよ今週か
ら通常国会が始まりました。難
問山積ですが全力で頑張りま
す。

税と保険料

この国会では年金制度の「改
革案」が審議されます。坂口大
臣がとりまとめた案は保険料
を上げて給付額を下げるとい
う当たり前の内容です。とても
「改革案」とは言えません。

「若い頃から保険料を納め
ておくと、年をとってから年金
をもらえる」という仕組みが年
金制度です。でも、納めた分だ
けもらえるならば、自分で貯め
ておけばいいことです。では、
なぜ政府が年金制度を運営す
る必要があるのでしょうか。

老後の生活を賄うだけの給
付が受けられない人(Ⅱそれに
見合う保険料を現役時代に納
められない人)にも所要の生活
資金を提供することが公的年
金制度の意味です。つまり、公

的年金制度Ⅱ所得再分配政策
であり、所得再分配は政治その
ものです。だから政府が年金制
度を運営しているのです。

政府が行う政策の財源は国
民の税金で賄われます。「保険
料を納める」という表現は「保
険料は税金と違う」という印象
を与えますが、保険料は税金と
本質的には同じです。

本当の負担はどっち？

保険料負担が上昇するとい
うことは本質的には増税と同
じです。実質増税をカモフラ―
ージュするための保険料引き上
げ、給付削減を行う一方で、無
駄な財政支出を続けているこ
とにこそ問題があります。

保険制度も税金の源泉徴収
制度も、国民が「いったいどの
程度の実質税負担をしている
のか」を実感できないようにす
るための政府の工夫とも言え
ます。この際、保険制度を廃止
して税金で賄う仕組みに改め
るのも一案です。そうすれば、



覚王山ゾクゾクコーナー



—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——
〈今回ご紹介するのは、「はんなり」さんです〉

日泰寺の参道入り口から本堂に向って少し進むと、右手に、落ち着いた店構えの居酒屋さん、「はんなり」がみえてきます。

はんなりのおかみさん、小坂和子さんは、着物がご趣味。着物の世界で「はんなり」というと、「明るくふわっとした」、「あでやかな」という意味だそうで、明るく包まれるような雰囲気でも**家庭料理**を楽しんでいただくため、この名前になったようです。

お店が開店したのは平成5年。ご主人の小坂功さんは、実は同じ日泰寺参道の名店「小松」のご主人の弟さんで、長く料理の修行をしてきた方。このご主人とおかみさんとで、工夫に工夫を重ね、**日々メニューを考えている**そうです。

名物は、**はんなり餃子**と**だし巻き玉子**。「失敗メニューもあったけど、お客さまに喜んでいただける料理が定着するととても嬉しい」と語るおかみさん。料理をいただき会話をすれば、そこが第二の家庭になってしまう、はんなりさんはそんなお店です。

はんなり: 763-3558 (火曜定休)

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh.kouhei.org

年金財源確保のためには無駄な財政支出を見直さなくてはなりません。こうした新しい枠組みをつくることこそが抜本改革です。
小泉さん、坂口さん、しっかりしてくださいよ。

